

## 鎌倉市高齢者保健福祉に関するアンケート調査結果の概要について

## 1 調査の目的

令和 6 年度を初年度とする第 9 期高齢者保健福祉計画の策定に向けて、高齢者の生活状況、ニーズ、地域課題等を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

## 2 調査概要

	令和 4 年度	令和元年度
調査対象	令和 4 年 12 月 1 日現在、要支援・要介護認定を受けていない満 65 歳以上	令和元年 12 月 1 日現在、要支援・要介護認定を受けていない満 65 歳以上
調査対象者数	4,000 人	4,200 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出	
調査方法	郵送によるアンケート形式	
期間	令和 5 年 1 月 12 日 ～ 1 月 30 日	令和 2 年 1 月 29 日 ～ 2 月 12 日
配布数	4,000 通	4,200 通
回収数	2,702 通	2,575 通
回収率	67.6%	61.3%

## 3 令和元年度との比較

回答に 10 ポイント以上の差、または順位の変動があった結果のみを記載しています。

		令和 4 年度	令和元年度
1 あなたのご家族や生活状況	介護が必要になった主な原因	①「高齢による衰弱」 24.5%	①「骨折・転倒」 23.5%
		②「心臓病」 14.7%	②「認知症(アルツハイマー病等)」 19.6%
		③「視覚・聴覚障害」「骨折・転倒」 12.3%	③「高齢による衰弱」 13.7%
生活状況	主に介護・介護している人	①配偶者(夫・妻) 60%	①無回答 42.3%
		②娘 26.7%	②配偶者(夫・娘) 21.6%
		③息子 15%	③娘 19.1%

		令和4年度		令和元年度	
2	外出を から 控えて だを いるか	控えている	32.5%	控えている	13.2%
		控えていない	66.2%	控えていない	85.5%
動か すこ と	外出を 控えて いる理 由	①その他	63.1%	①足腰などの痛み	44.5%
		②足腰などの痛み	24.8%	②その他	19.8%
		③外での楽しみがない	10.6%	③外での楽しみがない	16.5%
6	家族や たす けあ い 友人・ 知人以 外の相 談相手	①そのような人はいない	39.3%	①医師・歯科医師・看護師	38.0%
		②医師・歯科医師・看護師	33.3%	②そのような人はいない	34.5%
		※③役所・役場	15.7%	③役所・役場・地域包括支援セン ター	15.7%
		地域包括支援センター	9.5%		
		※項目を分けて質問	合計 25.2%		
9	独自 設問 地域包 括支援 センタ ーの利 用	地域包括支援センターを知っている・または利用した・利用している		地域包括支援センターを知っている・または利用した・利用している	
		(「利用したことがある・または現在利用している」	11.3%	(「利用したことがある・または現在利用している」	7.4%
		「知っているが、利用したことはない」)	47.6%	「知っているが、利用したことはない」)	37.0%
		合計	58.9%	合計	44.4%

#### 4 設問ごとの結果概要

	調査結果概要（抜粋）
問1 あなたのご家族や生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族構成は、高齢夫婦または高齢独居世帯が半数以上</li> <li>・介護・介助は必要ないと答えた人が9割</li> <li>・居住形態は、8割以上の人が持家（一戸建て・集合住宅）</li> </ul>
問2 からだを動かすこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去1年間に転んだ経験は、1度以上ある人が約3割</li> <li>・転倒に対して不安に思っている人が半数近くいる</li> <li>・1週間の外出頻度は、ほとんどの人が週1回以上外出している</li> <li>・昨年と比べて外出の回数は、減ったと回答した人が3割</li> <li>・外出を控えている人も3割で、控えている理由として新型コロナウイルス感染症の影響のほか、足腰などの痛み、外での楽しみがないことが挙げられた</li> <li>・外出の移動手段は、徒歩が最も高く、次に路線バスや電車など公共交通機関となっている</li> <li>・外出の主な目的は、買物、通院、散歩の順で多い</li> </ul>
問3 食べること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年前に比べて固いものが食べにくくなったと感じている人は約4人に1人</li> <li>・お茶や汁物等でむせることがある人が約3割いる</li> <li>・誰かと食事をともにする機会は、週に1度以上ある人が6割</li> </ul>
問4 毎日の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物忘れが多いと感じている人が4割</li> <li>・今日が何月何日かわからない時があるか人が5人に1人</li> <li>・健康についての記事や番組に関心がある人が約9割</li> <li>・趣味がある人が8割で、生きがいがある人が約6割</li> </ul>
問5 地域での活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半数以上の人が趣味関係グループなどの社会参加活動へ参加していない</li> <li>・地域での健康づくり活動等への参加意向が半数を超える</li> </ul>
問6 たすけあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心配事や愚痴を聞いてくれる・聞いてあげる人は、配偶者が半数以上と最も高い</li> <li>・看病や世話をしてくれる・してあげる人も、配偶者が半数以上と最も多い高い</li> <li>・家族や友人・知人以外の相談相手は、相手がいない人が最も多いものの、医師などの医療職や市役所などの行政に相談先と回答している</li> </ul>

	調査結果概要（抜粋）
問7 健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の健康状態をよいと回答した人が8割</li> <li>・幸せ度の点数の平均点は10点満点中7.3点。幸せと回答した人が約7割となっている</li> <li>・1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりした人は約4割で、1か月間でどうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人が約2割となっている</li> <li>・お酒をほぼ毎日飲む人が約3割で、もともと飲まない、ほとんど飲まない人が半数</li> <li>・タバコをもともと吸っていない、吸っていたがやめた人が約9割</li> <li>・現在治療中、または後遺症のある病気高血圧、目の病気、高脂血症（脂質異常）の順で多くなっている</li> </ul>
問8 認知症にかかるとの相談窓口の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるのは約10人に1人の割合</li> <li>・認知症に関する相談窓口を知っている人が約3割で、知っている相談窓口として地域包括支援センター、医療機関、市役所の順で高かった。</li> </ul>
問9 市の取組他（移動支援・スマホ等利用状況・地域包括支援センター認知度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許の保有状況は、持っている人が半数、返納した人とそもそも持っていない人で4割程度となっている</li> <li>・最寄りの公共交通機関までの所要時間は、15分未満の割合が8割以上</li> <li>・充実すると外出したくなるものは、興味を持てる場所、人とのつながり交通手段の順で多くなっている</li> <li>・スマートフォンを利用している人は7割以上、交通系ICカードを利用している人が約9割</li> <li>・地域包括支援センターを知っている、利用していたまたは利用している人は約6割</li> </ul>